

2018年度「書物との出会い（イ）」（近代ヨーロッパと現代）リーディングリスト

*各項目に含まれる内容

(1) 書誌情報／(2) その本が関連する学問領域／(3) キーワード: その本が関連するテーマなど／(4) 本の難易度: 0～3まで (数が大きいほど難易度が高い)／(5) 推薦した教員のコメント／(6) 推薦者の名前、所属

- (1) 犬塚孝明 (2001年) 『密航留学生たちの明治維新——井上馨と幕末藩士』 日本放送出版協会、絶版、ISBN : 9784140019214
- (2) 学問領域 : 歴史学
- (3) キーワード : 留学生、日本の近代化
- (4) 難易度 : 2
- (5) 現代は本人のやる気さえあれば誰でも留学できる時代である。しかし、150年前は「見つければ死罪」という命がけの行為であった。近代化を果たしたヨーロッパを「自分の目で見てみたい!」と、幕末に密航留学した若者たち (例えば伊藤博文) によって、日本の近代化が進められた。映画『長州ファイブ』の背景を知るために必読の書である。
- (6) 推薦者 : 山本珠美 (地域連携・生涯学習センター)

- (1) 梅溪 昇 (2007年) 『お雇い外国人——明治日本の脇役たち』 講談社学術文庫、972円、ISBN : 9784061598072
- (2) 学問領域 : 歴史学
- (3) キーワード : 明治維新、日本の近代化
- (4) 難易度 : 1
- (5) 「お雇い外国人=日本を世界一流レベルに引き上げるために雇われた外国人」と言って思い浮かべるのは誰だろう。ハリルホジッチ (サッカー日本代表監督) か、エディー・ジョーンズ (元ラグビー日本代表 HC) か。平成の世の彼らだけでなく、明治時代の「お雇い外国人」たちが日本の近代化に向けて奮闘努力した様も、ぜひ知って欲しい!
- (6) 推薦者 : 山本珠美 (地域連携・生涯学習センター)

- (1) 山本昭宏 (2015年) 『核と日本人——ヒロシマ・ゴジラ・フクシマ』 中公新書、950円、ISBN : 9784121023018
- (2) 学問領域 : 歴史学
- (3) キーワード : 原子力
- (4) 難易度 : 1
- (5) ヨーロッパやアメリカの先端的学問を必死に学んで近代化を果たした日本。1945年にはそれら先端的学問の一つの帰結である原子爆弾による甚大な被害を受けた。日本人は果たしてこの原子力とどう向き合おうとしてきたのか。学界、政界、経済界のみならず、マンガやアニメなどのポピュラーカルチャーの動きにも目を向けつつ、1945年以降現在までの日本人と原子力との関係を読み解いたエキサイティングな本。
- (6) 推薦者 : 山本珠美 (地域連携・生涯学習センター)

- (1) 竹内洋『立志・苦学・出世—受験生の社会史』講談社学術文庫、2015年、846円、ISBN：9784062923187
- (2) 学問領域：歴史学
- (3) キーワード：日本の近代化 受験
- (4) 難易度：2
- (5) 幕藩体制の崩壊後、当時の若者たちは、新たな制度の下、如何なる取り組みで生涯を渡っていくとしたのだろうか？今日にも通じる「受験」についての、私達の先達の営為を俯瞰して読み取ることができます。
- (6) 推薦者：山本裕（経済学部）

- (1) 松沢裕作『自由民権運動—〈デモクラシー〉の夢と挫折』、岩波新書、2016年、886円、ISBN：9784004316091
- (2) 学問領域：歴史学
- (3) キーワード：日本の近代化 自由民権
- (4) 難易度：2
- (5) きっと一度は聞いたことがある「自由民権運動」。この問題を、近世社会からの連続で捉え、当時の人々の生き様からとらえ返そうとする、新しい歴史像の構築を試みています。「歴史の中の昔の出来事」ではない、歴史が、そこにあります。
- (6) 推薦者：山本裕（経済学部）

- (1) 筒井清忠（2009年）『日本型「教養」の運命—歴史社会学的考察』岩波現代文庫、絶版、ISBN：9784006002312
- (2) 学問領域：歴史学
- (3) キーワード：日本の近代化 教養 修養
- (4) 難易度：2
- (5) 「大学では教養を身に付ける」こんな言葉を聞いたことがあるかもしれません。では、何故、大学では教養を身に付けることになったのでしょうか。明治期以降の「その時代の若者」達が、教養を身に付けようとするに至った社会状況について、歴史学的に考察しています。なお、現代日本社会で「教養」とは何か？それに対する著者の回答も、本書の第5章で提示されています。
- (6) 推薦者：山本裕（経済学部）

- (1) 魯迅作・竹内好訳（2016年）『阿Q正伝・狂人日記 他十二編（呐喊）』岩波文庫、734円、ISBN：9784003202524
- (2) 学問領域：文学、社会学
- (3) キーワード：魯迅、呐喊（とっかん）、近代中国、封建社会、社会変革
- (4) 難易度：1
- (5) 日本でも愛読者の多い魯迅の代表的な短編小説集であり、現実描写とユーモア満載の創作手法は特徴的である。「狂人」、「阿Q」などの人物を描くことによって、近代中国社会の救いがたい病根とは何かを問いかける。
- (6) 推薦者：張曉紅（経済学部）

- (1) 川島真 (2010 年)『近代国家への模索 1894-1925』(シリーズ中国近現代史②) 岩波新書、929 円
ISBN9784004312505
- (2) 学問領域：歴史学、社会学
- (3) キーワード：近代国家、清王朝、辛亥革命、中華民国、割拠
- (4) 難易度：3
- (5) 近代中国は諸列強に侵略される半植民地国家と化した。しかし「近代化」が西欧諸国からアジアに伝わってくる過程において中国の「知識人・有志」は日本と同じように「救国」について悩み、近代化への道を模索していた。
- (6) 推薦者：張曉紅 (経済学部)

- (1) 原田敬一 (2007 年)『日清・日露戦争』(シリーズ日本近現代史③) 岩波新書、886 円
ISBN : 9784004310440
- (2) 学問領域：歴史学、社会学
- (3) キーワード：日清・日露戦争、朝鮮、明治、日本帝国
- (4) 難易度：3
- (5) 近代日本は、日清・日露戦争から始まった戦争によって東アジアを植民地にし、帝国にのし上がった。両戦争は東アジアの新秩序を形成した。日中韓の歴史認識をめぐる対立の原点はそこにあったかもしれない。
- (6) 推薦者：張曉紅 (経済学部)

- (1) 長尾龍一 (2007 年)『法学ことはじめ』慈学社、2808 円、 ISBN : 9784903425214
- (2) 学問領域：法学、哲学、歴史
- (3) キーワード：人間、社会、法、道徳
- (4) 難易度：1
- (5) 法学の知識が全くなくても、読める入門書。法とは何か、法の役割は何かといったことが、身近な経験もまじえながら面白く語られています。また、この本からほかの本への手引きとして読むこともできるきわめて広範な内容を持っています。
- (6) 推薦者：山本陽一 (法学部)

- (1) 福澤諭吉 (1995 年)『文明論之概略』 岩波文庫、1570 円、 ISBN : 9784003310212
- (2) 学問領域：歴史、哲学、政治
- (3) キーワード：文明、気風、学問、権力
- (4) 難易度：3
- (5) 明治初期に出版された本書は、日本の近代化を受動的にではなく、積極的に受けとめ、また同時に、日本と西洋を対象化し、単なる西洋化の妄信には陥っていません。現代にこそ、読まれるべき古典。その筆法のあざやかさと内容の痛快さを味読してほしい。
- (6) 推薦者：山本陽一 (法学部)

- (1) ラス・カサス (2013 年) 『インディアスの破壊についての簡潔な報告』 岩波文庫、972 円、ISBN : 9784003580011
- (2) 学問領域 : 歴史、思想、政治
- (3) キーワード : 文明、野蛮、道徳、宗教
- (4) 難易度 : 1
- (5) ラス・カサスは 15-6 世紀スペインの修道士であり、祖国がインディアスでおこなった残虐非道の数々を本書で告発しています。そのため、後世のいわゆる「愛国者」からの非難も受けたこともあります。論敵セプルーベダの議論も岩波文庫で読めるので比較してほしい。
- (6) 推薦者 : 山本陽一 (法学部)

- (1) J・S・ミル(2012 年) 『自由論』 (訳) 齊藤悦則、光文社、1145 円、ISBN : 9784334752507
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学、政治学、歴史学
- (3) キーワード : 自由、功利主義、幸福、権利
- (4) 難易度 2
- (5) 功利主義の立場から自由を最大限に認めあうことが個人にとっても社会にとっても有益であることを論じた本。「自由」について考えるための最も基本になる必読の名著である。
- (6) 推薦者 : 石川徹 (教育学部)

- (1) J・S・ミル (1960 年) 『ミル自伝』 (訳) 朱牟田夏雄、岩波文庫、絶版、ISBN : 9784003411681
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学、文学、政治学、教育学
- (3) キーワード : 功利主義、幸福、教育
- (4) 難易度 2
- (5) 自分の人生を誠実に振り返って書かれた最良の自伝の一つ。他分野にわたり大きな業績を残したミルの入門書としても役立つ。
- (6) 推薦者 : 石川徹 (教育学部)

- (1) 直江清隆・越智貢 (編) (2012 年) 『自由とは』 (高校倫理からの哲学 4) 岩波書店、1620 円、ISBN : 9784000285445
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学、政治学、教育学
- (3) キーワード : 自由 運命、社会、必然性
- (4) 難易度 2
- (5) 自由の多義性を、対立項をはっきりさせることで明示し、それぞれ身近なところから、どのような問題があるのかを明示して考えさせてくれる。少しずつ考えながら読むことをすすめる。
- (6) 推薦者 : 石川徹 (教育学部)

- (1) 御子柴義之 (2015 年)『自分で考える勇気 カント哲学入門』、岩波ジュニア新書、907 円、ISBN : 9784005007981
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学・論理学、歴史学
- (3) キーワード : 理性、批判、自律、啓蒙
- (4) 難易度 : 1
- (5) 「カントの原典にいきなり挑戦するのはちょっと…」と思っているみなさんに、まず読んでもらいたい一冊。身近な出来事とのつながりで、カント哲学のエッセンスと「自分で考えること」の大切さを教えてくれる。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) カント (1985 年)『永遠平和のために』(訳) 宇都宮芳明、岩波文庫、560 円、ISBN : 9784003362594
- (2) 学問領域 : 哲学・倫理学・論理学、歴史学
- (3) キーワード : 平和、歴史、理想
- (4) 難易度 : 2
- (5) 最近の安保法案をめぐる議論でもしばしば引用される古典。何のために「永遠平和」(=一切の敵意の解消)という理念を掲げる必要があるのか、丁寧に論じており学ぶところが多い。「平和主義なんて、結局たんなる理想論でしょ?」と考えている人にこそ読んでもらいたい一冊。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) 松元雅和 (2013 年)『平和主義とは何か』、中公新書、886 円、ISBN : 9784121022073
- (2) 学問領域 : 政治学、哲学・倫理学・論理学
- (3) キーワード : 戦争、平和、平和主義、正戦論、軍事的介入
- (4) 難易度 : 2
- (5) 「愛する人が襲われても無抵抗でよいのか」「正しい戦争もあるのではないか」等、平和主義に向けられる批判に丁寧に組みながら、「説得力のある平和主義」の姿を探る論考。読み終わった時、平和主義のイメージがかなり変わるのではないか。また言論の力を強く感じさせる一冊でもある。
- (6) 推薦者 : 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

「書物との出会い・男と女」リーディング・リスト 2018

- (1) 若桑みどり (2003) 『お姫様とジェンダー』ちくま新書、740 円、ISBN-10 : 4480061150
 - (2) 学問領域：社会学、ジェンダー・スタディーズ
 - (3) キーワード：ジェンダー
 - (4) 難易度 2
 - (5) 白雪姫、シンデレラ、眠り姫などのディズニーアニメをジェンダーの視点から読み解く。筆者の授業を受けた学生の感想も掲載されており、この本を読み終えた後には、これまでとは異なったディズニーアニメの見方ができるようになっているはず。
 - (6) 推薦者：西本佳代 (大学教育基盤センター)
-
- (1) 本橋哲也 (2015) 『ディズニー・プリンセスのゆくえ』ナカニシヤ出版、2160 円、ISBN-10: 4779510589
 - (2) 学問領域：社会学、カルチュラル・スタディーズ
 - (3) キーワード：ディズニー
 - (4) 難易度 2
 - (5) 白雪姫やシンデレラといったディズニーアニメから、近年の実写版シンデレラやマレフィセントまでを題材として扱い、カルチュラル・スタディーズの側面からディズニー・プリンセスについて考察した本。上記の『お姫様とジェンダー』と比較してみるとそれぞれの視点が際立って面白い。
 - (6) 推薦者：西本佳代 (大学教育基盤センター)
-
- (1) 伊藤公雄・牟田和恵編 (2015) 『ジェンダーで学ぶ社会学 (全訂新版)』世界思想社、1,944 円、ISBN : 4790716686
 - (2) 学問領域：社会学
 - (3) キーワード：ジェンダー、社会学
 - (4) 難易度 2
 - (5) 「育つ」「学ぶ」からはじまり「シェーカツする」「愛する」「ケアする」等、この本ではトピックごとにジェンダーについて学ぶことができる。社会学領域におけるジェンダー論の基本はもちろんのこと、変化球も組み込まれており、何かしらの新しい視点を提示してくれるはず。
 - (6) 推薦者：西本佳代 (大学教育基盤センター)

- (1) 岩上真珠 (2013) 『ライフコースとジェンダーで読む家族 (第3版)』有斐閣、2,052 円、ISBN:978-4-641-17396-5
 - (2) 学問領域：社会学
 - (3) キーワード：ライフコース、ジェンダー、家族、近代家族
 - (4) 難易度 1
 - (5) 少子高齢化、個人化が進む現代社会において、家族はどう変化してきたか、ライフコースとジェンダーの視角から解説した現代家族社会学の入門書。この書物を契機として、これからの個人の生き方と、家族生活のあり方という、個人の生涯にとっても重要な問題を、ぜひ自分の問題としてとらえ考察してほしい。
 - (6) 推薦者：時岡晴美 (教育学部)
-
- (1) 上野千鶴子 (2010) 『女ざらいーニッポンのミソジニー』紀伊国屋書店、1,620 円、ISBN:978-4-314-01069-6
 - (2) 学問領域：社会学
 - (3) キーワード：ミソジニー、性の二重基準、自己嫌悪、現代社会
 - (4) 難易度 3
 - (5) 男性にとっての「女性嫌悪」、女性にとっての「自己嫌悪」に着目して、様々な角度から現代社会を解説しながら、「男社会」の現実を解剖していく書である。ジェンダー研究のパイオニアとされる著者が、「どんなに不快であれ、そこから目をそむけてはならない現実」として書き継ぎ、「それを知ることによって、それがどんなに困難でも、その現実を変えられる可能性がある」とし、「共感も反感も含めて、本書には波紋を拡げてほしい」と言っている。
 - (6) 推薦者：時岡晴美 (教育学部)
-
- (1) 水無田気流 (2015) 『「居場所」のない男、「時間」のない女』日本経済新聞出版社、1,404 円、ISBN : 978-4-532-16955-8
 - (2) 学問領域：社会学
 - (3) キーワード：近代家族、男性問題、ワークライフバランス、サラリーマン家庭
 - (4) 難易度 2
 - (5) 現代の日本人男性は、仕事以外の人生の選択肢に乏しく「世界一孤独」とされ、日本人女性は、婚活・妊活などのタイムリミットに追われ続けて自分の時間が確保できない状況におかれている。サラリーマンの夫と妻という現代の家族のありように、本当に幸福なのかと疑問を投げかけ、男女ともに幸福になるための方法論を展開している。現在の気鋭の社会学者による書であり、かなり個性が強いので、十分に読み込んだ上でしっかり反論してもらいたい。
 - (6) 推薦者：時岡晴美 (教育学部)

- (1) 田中俊之『男がづらいよー絶望の時代の希望の男性学ー』、KADOKAWA、2015年
ISBN：404601119X
- (2) 学問領域：社会学
- (3) キーワード：男性学
- (4) 難易度 1
- (5) 男性の人生は「卒業→就職→結婚→定年」という一本道の生き方が「普通」とされ、一種のステータスにもなっていた。しかし、この「普通」にこそ、男性の生きづらさの根本原因があるのではないだろうか。
- (6) 推薦者：高田 純（保健管理センター）

- (1) 青野篤子・森永康子・土肥伊都子著『ジェンダーの心理学改訂版』、ミネルヴァ書房、2004年
ISBN：4623041530
- (2) 学問領域：心理学
- (3) キーワード：ジェンダー
- (4) 難易度 2
- (5) 男は強く、女は優しい。このような男女の意識はどのように生まれ、心の中に定着していくのか。思いこみ・ステレオタイプをキーワードに社会心理学の立場から解き明かしていく一冊。
- (6) 推薦者：高田 純（保健管理センター）、

- (1) 河合隼雄（2008）『とりかえばや、男と女』新潮社、1,296円、ISBN:4106036169
- (2) 学問領域：心理学
- (3) キーワード：ジェンダー、深層心理
- (4) 難易度 2
- (5) 『とりかえばや物語』は、平安時代に描かれた男女逆転の物語である。「男らしさ」とは？「女らしさ」とは？物語からみえてくる、ジェンダーと性愛の深層を心理学の立場から読み解いていく。
- (6) 推薦者：高田 純（保健管理センター）

- (1) 阿部謹也 (2007) 『西洋中世の男と女』 ちくま学芸文庫、1,399 円、ISBN : 9784480091024
- (2) 学問領域 : 歴史学
- (3) キーワード : 結婚、性愛、キリスト教
- (4) 難易度 2
- (5) 愛とは何かという観念的な話ではなく、その実態について関心がある人にとっては面白い本だと思う。中世キリスト教の支配下における性愛と結婚の実態について、王侯から民衆まで、社会各層の事情を知ることができる。
- (6) 推薦者 : 斉藤和也 (経済学部)

- (1) プラトン (2013) 『饗宴』 中澤務訳、光文社文庫、1,008 円、ISBN : 9784334752767
- (2) 学問領域 : 哲学
- (3) キーワード : エロス、イデア、少年愛
- (4) 難易度 2
- (5) 人間は美しいものを求める存在であり、それに向かわせる衝動がエロスである。このような意味での愛について考えようとするときに、この本は明確な観念を与えてくれる。この本は、プラトン自身によるイデア論への入門書でもあるが、少年愛など当時の恋愛事情についても情報を与えてくれる。
- (6) 推薦者 : 斉藤和也 (経済学部)

- (1) 納富信留『プラトン『饗宴』2013年7月(100分 de 名著)(ムック)』NHK出版、絶版、ISBN:978-4142230280
- (2) 学問領域 : 哲学
- (3) キーワード : エロス、イデア、少年愛
- (4) 難易度 1
- (5) プラトンの『饗宴』を扱ったNHK番組「100分 de 名著」のテキスト。日本のプラトン研究をリードする研究者による正確で分かりやすい解説書。哲学が苦手という人にはまず手にとってほしい一冊。哲学は意外に面白いと思えるはず。
- (6) 推薦者 : 斉藤和也 (経済学部)

- (1) 清水克之『耳鼻削ぎの日本史』洋泉社、2015年、950円、ISBN：978-4-8003-0670-8
- (2) 学問領域：歴史学（日本史）
- (3) キーワード：身体刑、習俗、性差、人間観
- (4) 難易度3
- (5) 前近代の日本列島で行われていた耳鼻削ぎの身体刑は、鎌倉時代の地頭の非法行為として高校の日本史教科書にも登場するなど、よく知られているところである。しかし、耳鼻削ぎの習俗は、おもに女性に対して行われた身体刑であることはあまり知られていない。本書は、その習俗が存在した歴史的意味を理解し、いまも現実に世界で行われているこうした習俗について、考えるきっかけになるであろう。
- (6) 推薦者：守田逸人（教育学部）

- (1) 池上俊一『身体の中世』筑摩書房、2001年、1,500円、ISBN：4-480-08666-8
- (2) 学問領域：歴史学（西洋史）
- (3) キーワード：身体、表象、感性、人間観
- (4) 難易度3
- (5) 西洋中世社会における人間や人間の身体、あるいは目や耳など人間を構成する様々な部位等に対する認識のあり方、または人間の表情やしぐさのあり方について広く考察したものである。本書は「男と女」の論点にとどまらず広い視野で論が展開しているが、講義内容をふまえて「男と女」の視点から読み解くことで、様々な角度から「男と女」がどう認識されてきたか、理解を深めることができる。
- (6) 推薦者：守田逸人（教育学部）

- (1) 網野善彦『中世の非人と遊女』講談社学術文庫、2005年、1,037円、ISBN：978-4-06-159694-8
- (2) 学問領域：歴史学（日本史）
- (3) キーワード：心性、女性、差別、人間観、社会観
- (4) 難易度3
- (5) 日本の歴史学が農業、とくに水田を軸とした社会の分析に力点を注いできたことに対し批判的な立場をとりつつ、職人などの非農業民や女性のあり方を考察してその歴史的立場について論じている。とくに、日本列島における「差別」意識の歴史的あり方やその変化のあり方について踏み込んだ検討をしておき、そうした問題について理解を深めるきっかけになるだろう。
- (6) 推薦者：守田逸人（教育学部）

- (1) 網野善彦『無縁・公界・楽』平凡社、1996年、1,165円、ISBN：978-4-582-76150-4
- (2) 学問領域：3
- (3) キーワード：習俗、心性、アジール、人間観、社会観
- (4) 難易度3
- (5) 夫婦関係の解消のために女性が駆け込む寺として存在した「縁切寺」に代表されるように、かつての日本社会には至る所に人間の避難所（アジール）が存在した。ここでは、原始・古代～現代

に至る長い歴史過程のなかで、どのようにそうした「アジール」が消滅していくのか、動的に論じている。時間とともに「右肩上がり」に成長していくと考えられがちな社会観に対して批判的な立場から論じており、時空を超えて「社会」を考えるきっかけになるだろう。

(6) 推薦者：守田逸人（教育学部）

(1) 長谷川まゆ帆『(世界史リブレット)女と男と子どもの近代』山川出版社、2007年、787円、ISBN-13：978-4634348905

(2) 学問領域：社会史

(3) キーワード：家族史、ジェンダー

(4) 難易度 2

(5) 19世紀以降に理想とされてきた女と男と子どもの関係は、それ以前から形づくられてきた、人間の感じ考えるその仕方や、社会的結合関係に、すでにその萌芽が埋め込まれていた。本書では、16~18世紀の、とくにフランスで見られた変化に光をあてながら、近代社会を再考していく。

(6) 推薦者：村上弥生（男女共同参画推進室）

(1) 柳田國男『妹の力』 角川ソフィア文庫 2013年 802円 ISBN-13: 978-4044083168

(2) 学問領域：民俗学

(3) キーワード：民俗学、柳田國男、女性

(4) 難易度 3

(5) かつて女性には神秘の力があるとされ、祭祀を取り仕切り、信仰の対象にもなっていた。女性に託されていたものとはなにか。全国の民間伝承や神話などを丹念に検証し、担っていた役割を明らかにした。「遠野物語」で有名な柳田の女性の力についての著作集。

(6) 推薦者：村上弥生（男女共同参画推進室）

(1) 柳田國男『明治大正史 世相篇 新装版』講談社学術文庫、1993年、1,490円、

ISBN-13：978-4061590823

(2) 学問領域：民俗学

(3) キーワード：柳田國男、生活史

(4) 難易度 3

(5) 「毎日われわれの眼前に出ては消える事実のみによって、立派に歴史は書けるものだ」という著者が、明治大正の日本人の暮らし方、生き方を、民俗学的方法によって描き出した画期的な世相史。このような社会の変化の中で男と女の関係性も変化していくことを考えてほしい。

(6) 推薦者：村上弥生（男女共同参画推進室）

2018年度「書物との出会い ハ(視ることと読むこと)」リーディングリスト

*各項目に含まれる内容

(1)書誌情報／(2)その本が関連する学問領域／(3)キーワード:その本が関連するテーマなど／(4)本の難易度:0～3まで(数が大きいほど難易度が高い)／(5)推薦した教員のコメント／(6)推薦者の名前、所属

- (1) 船津衛(2010年)『コミュニケーション・入門 改訂版』有斐閣アルマ、1944円、ISBN:9784641123960
- (2) 学問領域:社会学、社会心理学
- (3) キーワード:コミュニケーション、自我
- (4) 難易度:1
- (5) コミュニケーションとは、主体間で繰り広げられる表現、解釈、伝達の行動です。この本は、この原理に立ち戻り、心のなかから、個人間、個人と集団、マスメディア、インターネットに至るまで、包括的にかつ分かりやすくコミュニケーションを解説しています。
- (6) 推薦者:武重雅文(名誉教授)

- (1) 池上嘉彦(1984年)『記号論への招待』岩波新書、864円、ISBN:9784004202585
- (2) 学問領域:言語学、記号論
- (3) キーワード:コミュニケーション、記号、文化
- (4) 難易度:2
- (5) コミュニケーションに必須の、言葉に代表される記号は、われわれの認識や思考に重要な役割をはたす。本書は、言語学から生まれた記号に関する理論を用いて、コミュニケーションにおける意味の生成、変化を解説した、当該分野の代表的入門書。
- (6) 推薦者:武重雅文(名誉教授)

- (1) ヴァルター・ベンヤミン(1999年)『複製技術時代の芸術』佐々木甚一編集、晶文社クラシックス、ISBN:9784794912664
- (2) 学問領域:美学、哲学
- (3) キーワード:複製(コピー)文化、アウラ(オーラ)
- (4) 難易度:3
- (5) オーラといえば、人を取り巻くある種の輝きとして、皆さんもよく使われる言葉でしょう。ベンヤミンは、本書でオリジナルの芸術作品がもつ輝きとして、この言葉(アウラ)を用い、映画などを例に複製技術時代の芸術の変容について論じています。
- (6) 推薦者:武重雅文(名誉教授)

- (1) 白倉伸一郎(2004年)『ヒーローと正義』子どもの未来社、絶版、ISBN:9784901330428
- (2) 学問領域:社会学
- (3) キーワード:特撮ヒーロー、正義、プロデューサー
- (4) 難易度:1
- (5) 「特撮ヒーロー番組なんて、所詮子どもだましでしょ」なんてあなたが思っているのだとしたら大間違い!特撮ヒーロー番組の見え方だけでなく、「社会」の見え方も変わってしまう、推薦者一押しの一冊です。
- (6) 推薦者:葛城浩一(大学教育基盤センター)

- (1) 斎藤美奈子(2001年)『紅一点論ーアニメ・特撮・伝記のヒロイン像ー』筑摩書房、842円(文庫)、ISBN:9784480036667
- (2) 学問領域:社会学
- (3) キーワード:アニメ、特撮、ジェンダー
- (4) 難易度:2
- (5) 特撮ヒーロー番組だけでなく、アニメ番組のヒロインがどのように描かれているのかがよくわかる一冊です。アニメ番組には女児向けのものも多く取り上げられているので、女子学生には特にお勧めします。
- (6) 推薦者:葛城浩一(大学教育基盤センター)

- (1) 須川亜紀子(2013年)『少女と魔法ーガールヒーローはいかに受容されたのかー』NTT出版、4104円、ISBN:9784757143098
- (2) 学問領域:社会学
- (3) キーワード:魔法少女、ジェンダー
- (4) 難易度:3
- (5) いわゆる「魔法少女」モノのヒロインがどのように描かれているのかを分析した一冊です。少し難しく感じるかもしれませんが、プリキュアシリーズまで網羅されているので、好きな学生(女子学生に限りません)には特にお勧めします。
- (6) 推薦者:葛城浩一(大学教育基盤センター)

- (1) 杉田俊介(2014年)『宮崎駿論 神々と子供たちの物語』NHKブックス、1620円、ISBN:978-4140912157
- (2) 学問領域:芸術、哲学・倫理学、社会学
- (3) キーワード:アニメーション、自然、仕事
- (4) 難易度:2
- (5) ジブリアニメのそれぞれの作品のモチーフ、作品内容の変遷を非常にうまく整理した好著。ジブリアニメが現代社会の問題と密接なつながりを持っていることもわかる。作品の見方を変える一冊。
- (6) 推薦者:佐藤慶太(大学教育基盤センター)

- (1) 宮崎駿(2013年)『風の帰る場所』文春ジブリ文庫、702円、ISBN:978-4168122026
- (2) 学問領域:芸術、哲学・倫理学、社会学
- (3) キーワード:アニメーション、日本、世界観
- (4) 難易度:1
- (5) 『風の谷のナウシカ』から『千と千尋の神隠し』までの軌跡を、宮崎駿自身が語るインタビュー集。それぞれの作品の根底にある思想、葛藤、希望などが、生き生きとした言葉で語りだされている。
- (6) 推薦者:佐藤慶太(大学教育基盤センター)

- (1) エリアーデ (2014年) 『聖と俗〈新装版〉』法政大学出版局、3132円、ISBN:978-4588099762
- (2) 学問領域: 哲学・倫理学、宗教学
- (3) キーワード: 宗教、ヒエロファニー (聖体示現)、聖と俗
- (4) 難易度: 2
- (5) 宗教の本質を「聖なるものの現われ」とし、この図式に基づいて様々な現象を分析していくエリアーデの思想は、それ自体としても興味深い、作品理解や社会現象分析のための強力なツールにもなる。また「宗教とは何か?」という問題を新たな視点から考えることもできるだろう。
- (6) 推薦者: 佐藤慶太 (大学教育基盤センター)

- (1) レッシング (1970年) 『ラオコオン』岩波文庫、絶版、ISBN:9784003240410
- (2) 学問領域: 文学、芸術、哲学・倫理学
- (3) キーワード: 文学、絵画、芸術、比較芸術論、ラオコオン (ラオコーン)、古典
- (4) 難易度: 2
- (5) 文学と造形芸術とでは、同じテーマがどのように異なって表現されるのか、芸術的にどちらが優れているか。本書はこれを論じたもっとも古典的な著作です。ラオコオンは、古代トロイア戦争に出てくる悲劇的人物。その滅ぶ様を描いた古代の彫刻は今もローマのヴァチカン美術館で見ることができます。
- (7) 推薦者: 中谷博幸 (名誉教授)

- (1) 小川正廣 (2009年) 『ウェルギリウス「アエネーイス」—神話が語るヨーロッパ世界の原点 (書物誕生—あたらしい古典入門)』岩波書店、2268円、ISBN:9784000282895、
- (2) 学問領域: 文学、芸術、哲学・倫理学、歴史学
- (3) キーワード: 文学、ヨーロッパ、ウェルギリウス、アエネーイス、アエネアス、古典
- (4) 難易度: 1
- (5) ヨーロッパ文明の賞味期限は切れた、という議論がなされることもありますが、本当にそうなのでしょうか。著者は、ヨーロッパ的人間の原像を古代ローマが帝政化する時代の詩人ウェルギリウス (BC70-19) の著作に見出しています。ヨーロッパ文明を問い直したい人には是非薦めたい書。
- (6) 推薦者: 中谷博幸 (名誉教授)

- (1) 岡田温司・池上英洋 (2007年) 『レオナルド・ダ・ヴィンチと受胎告知』平凡社ライブラリー、1080円、ISBN:9784582766103
- (2) 学問領域: 芸術、歴史学、宗教学
- (3) キーワード: ダ・ヴィンチ、受胎告知、絵画、ルネサンス、キリスト教芸術
- (4) 難易度: 1:
- (5) レオナルド・ダ・ヴィンチは、あまりにも有名だが、いったいどこが凄いのか。彼が天才と言われるゆえんは何なのか。日本にも来たことのある『受胎告知』はいったい何をテーマとしているのか。この絵は本当に傑作なのか、等々。こういったことに疑問を持つ方に一読を薦めます。
- (6) 推薦者: 中谷博幸 (名誉教授)

- (1) 松本透 (2016年) 『もっと知りたいカンディンスキー』 東京美術、2000 円、ISBN : 9784808710637
- (2) 学問領域 : 芸術
- (3) キーワード : 絵画、カンディンスキー
- (4) 難易度 : 1
- (5) カンディンスキーの生涯と作品をわかりやすく解説している。紹介されている作品数も多く、カンディンスキーを知るには、現時点ではもっとも優れた入門書。
- (6) 推薦者 : 最上英明 (大学教育基盤センター)

- (1) ハワード (2015年) 『僕はカンディンスキー』 パイインターナショナル、1600 円、ISBN : 9784756247025
- (2) 学問領域 : 芸術
- (3) キーワード : 絵画、カンディンスキー
- (4) 難易度 : 1
- (5) カンディンスキーの生涯と作品を、わかりやすいイラストをまじえて、簡潔な文章で紹介している。カンディンスキー入門には便利な一冊。
- (6) 推薦者 : 最上英明 (大学教育基盤センター)

- (1) カンディンスキー (2017年) 『点と線から面へ』 ちくま学芸文庫、1000 円、ISBN: 9784480097903
- (2) 学問領域 : 芸術
- (3) キーワード : 絵画、カンディンスキー
- (4) 難易度 : 3
- (5) カンディンスキー自身の理論的著作。バウハウスでの講義に基づく。入門的な本だけでは物足りない、美術に強い関心のある人向け。
- (6) 推薦者 : 最上英明 (大学教育基盤センター)

- (1) 坂口安吾 (2008年) 『墮落論・日本文化私観 他二十二篇』 岩波書店、983 円、ISBN:978400311821
- (2) 学問領域 : 文芸批評、文化論
- (3) キーワード : 戦争、文化、墮落
- (4) 難易度 : 3
- (5) 「法隆寺をとりこわして停車場をつくるがいい」、「戦争に負けたから墮ちるのではないのだ。人間だから墮ちるのであり、生きているから墮ちるだけだ」という安吾の言葉に、焼け野原に立つ日本人が勇気づけられたという。スカした馬鹿になりたくない人にとって、いまだに必読書である。
- (6) 推薦者 : 渡邊史郎 (教育学部)

- (1) 花田清輝 (2008 年) 『復興期の精神』 講談社、1512 円、ISBN:9784062900133
- (2) 学問領域：文芸批評
- (3) キーワード：ルネサンス、マルクス主義
- (4) 難易度：3
- (5) 戦時下に書かれた西洋ルネサンス論。花田は、ある天文学者と殺人者を論じ、「ひとりは晴れわたった空に、ひとりは湿気を含んだ壁に、—すなはち、かれらの前に立ちふさがり、絶えずじりじりとかれらを圧迫しつづけてあるもののなかに、不意に二つの焦点のある、かれらの魂の形をみいだした」と述べる。我々も、そんな魂をみることもあるだろう。ひどい世の中に誠実さはあり得るのかという問に答えようとした本である。
- (6) 推薦者：渡邊史郎 (教育学部)

- (1) 山本昭宏 (2015 年) 『核と日本人 ヒロシマ・ゴジラ・フクシマ』 中央公論社、950 円、ISBN:9784121023018
- (2) 学問領域：文化論、メディア批評
- (3) キーワード：原子爆弾、原子力政策、ゴジラ
- (4) 難易度：2
- (5) 原爆投下は戦争における大量殺人である。しかし、それは戦後の紆余曲折において、文化に変容を遂げた。我々は、原爆の恐怖を「楽しんでいる」。その延長線上に、福島原子力発電所の事故に対する我々の態度がある、と著者は考えた。ゴジラやアトムを生み出した我が国のアイデンティティに切り込む論考。
- (6) 推薦者：渡邊史郎 (教育学部)